



撮影／駒井壮介

(番組)

狂言
鍋八撥

(和泉流)

シテ 野村万作
アド 中村修一
アド 内藤連

能
道成寺

(観世流)

赤頭
無躑之崩

(休憩二十分)

シテ	観世鏡之丞
ワキ	野口能弘
ツレ	野口琢弘
間	吉田祐一
笛	石田幸雄
高野和憲	一噌隆之
観	観世新九郎
安福光雄	大鼓
世元伯	太鼓

●鍋八撥

代官がやってきて、新しい市を開設するにつき、早く来て一番に着いた者を市の代表者にして特典を与えるという高札をたてました。これを見た鞆鼓売りが夜中に一番乗りしてひと眠りしていました。そこに浅鍋売りがやって来て、鞆鼓売りに先を越されたのをくやしがり、先着をよそおい鞆鼓売りのそばに寝ます。やがて目が覚めた二人が先着の争いになります…。

庶民的な鍋と上品な楽器の八撥(鞆鼓)との対照を見せてくれる作品です。笛入りで上演され、棒ふり、鞆鼓の舞などで脇狂言らしい祝言性とさわやかさが強調された舞台です。

●道成寺

紀州道成寺では、久しくなかった釣鐘の再興供養を行うことになりました。住僧は能力に、今日の供養の場は女人禁制と触れさせます。ところが一人の白拍子がやって来て、鐘を拝ませてほしいというのを、能力は一度は断りますが、舞を見せるという交換条件で許します。やがて女は喜んで烏帽子を借り受け舞を舞いますが、人々が寝入った隙を伺って、鐘を落とし、自分はその中に隠れてしまいます…。

「安珍清姫」の伝説をとりあげながら、それを直接的に扱わず、後日譚の形で劇化したものです。男に捨てられた女の激しい恋の恨み、死後まで残る執念の恐ろしさを主題にした作品です。

今回は「赤頭」「無躑之崩」の小書きつきでご覧いただけます。

新 会 員 募 集 中

都 民 劇 場

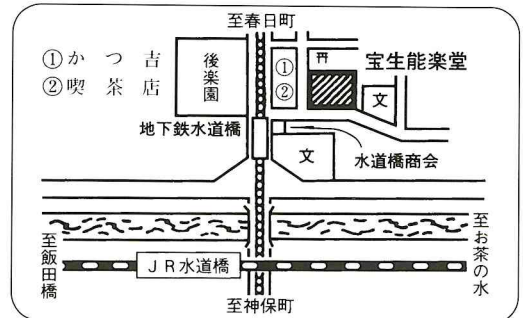
優れた演劇・歌舞伎・音楽をお得な料金で鑑賞します

■案内書(無料)は電話でご請求ください

03 (3289) 4621

●電話受付時間 平日10時~18時(土日祝=休)

<http://www.tomin-gekijo.or.jp>



【宝生能楽堂への交通】

JR(東口)又は 都営地下鉄(A1出口) 水道橋下車
〒113-0033 文京区本郷1-5-9 03-3811-4843

お問い合わせ○公益財団法人 都民劇場 03-3572-4311

○都民劇場／東京都中央区銀座5-1-7数寄屋橋ビル6F